

2020年2月21日

印西市長 殿

印西市環境推進市民会議

印西市環境基本計画（案）作成に対する提言

印西市の今後の環境政策の根幹ともなる次期環境基本計画（案）策定に当たり当市民会議で議論を進めてきました事項につき下記の通り取り纏めましたので御検討をお願い申し上げます。

記

以上

<主な論点>

1. 問題点の範囲：当面は特に制限を設けず議論する。
提案時期：基本計画（案）作成前に提案したい。
（尚、条例では市民会議の意見聴取の条文は無い）
批判では無く建設的・実行可能な提案としたい。
2. 基本計画に盛り込むべき全体課題
 - （1）この10年間の大きな変化について
 - ①地球温暖化の進行→想定外の自然災害（台風、洪水、山火事）
 - ②SDGsの広がり
 - ③環境意識の急速な高まり
（グレンさんの登場、著名富裕層の取組：アマゾン、マイクロソフト）
 - ④原発問題
 - ⑤マイクロプラスチック問題
 - ⑥新型コロナウイルス
 - ⑦多くの企業の進出
事業者の責務の認識度合いはどうか？
 - （2）基本計画の期間について
10年は長すぎるか？定量目標に関しては5年毎の見直しとするか？
 - （3）現基本計画全体のReview・評価
何が出来て、何が出来なかったのか？
出来なかった原因は何か？目標設定（基準値）が高すぎた若しくは間違っていないか？評価者は適切であったか？
 - （4）防災と環境問題
密接不可分ではあるが計画にどう取り込めるか？

(5) 印西市の強み・弱みの把握

(住みよい街1位→14位への陥落)

市民のプライド。印旛沼、手賀沼汚染度イメージからの脱却。

要因分析

3. 個別課題の設定

定性課題：気候非常事態宣言の検討、民有地の危険放置樹木・竹林
：グリーンインフラ

定量課題の設定

自然環境

生活環境

都市環境

地球環境

人作り

4. その他の課題

(1) 計画の推進体制の Review

審議会と市民会議の連携について

(2) PDCA サイクルは機能していたか？

白書の重要性の再認識：もっと十分な検討時間をとるべきであった。

(3) 用語説明は必要十分か。